

## 第1回 NGP セミナー開催報告

日時：2024年6月19日(水) 19:00-20:15

テーマ：

2024年4月医師の働き方改革始動！何が変わったのか？変わるのか？

肝胆膵外科医のプロフェッショナルリズムとワークインライフ

企画・司会：

冲永 裕子（都立駒込病院）

小齊 侑希子（福岡東医療センター）

プログラム：

セッション1. ~~行政の立場から~~肝胆膵外科医が知っておくべき基本事項-

元厚生労働省医政局医事課医師等医療従事者働き方改革推進室・聖路加国際病院

藤川 葵先生

セッション2. 各施設の取り組みと現状

東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科・人工臓器移植外科 千代田 武大先生

飯塚病院 外科 本村 貴志先生

セッション3. アンケート結果報告・Q&A セッション

参加人数：32名(司会2名、演者3名、一般視聴者27名)

2024年6月19日に、NGPにとって初めての試みとなるWebセミナー、第1回NGPセミナーを開催しました。第1回は、2024年4月からの労働基準法・医療法改正により始まった医師の働き方改革をテーマとし、3名の先生に講演いただきました。

はじめに、元厚生労働省医政局医事課医師等医療従事者働き方改革推進室の藤川葵先生にご講演いただきました。藤川先生は、肝胆膵外科医として勤務していた病院への労働基準監督署立ち入り調査をきっかけに医師の働き方改革に取り組み、その経験をもとに厚生労働省に入省され、3年にわたり医師の働き方改革を推進してこられました。その経験をもとに、肝胆膵外科医が日々の仕事に忙殺されて疎かになりがちな働き方改革関連法案の骨子をご解説いただきました。特に

- ① 裁量労働制適用の医師：研究を業務の主とし、一般労働者と同様の時間外労働の上限規制が適用となる医師で2024年4月より本人の同意が必須。
- ② 特定医師：医師の時間外・休日労働時間の上限規制が適用となる医師、原則、その上限は年960時間。

との違いや、医師の本来業務(診療、教育、研究)と研鑽の区別の難しさなどについてご享受いただきました。また、これらの法規制への対策として、各診療科で中堅世代がリーダーシップをとり、これまでの慣習的な業務の整理、カンファレンス開始時刻の見直しや情報共有ツールの導入などが提案された一方で、外科医としての自主的な修練は労働時間とは別に必要ではないかとの個人的な意見も述べられました。

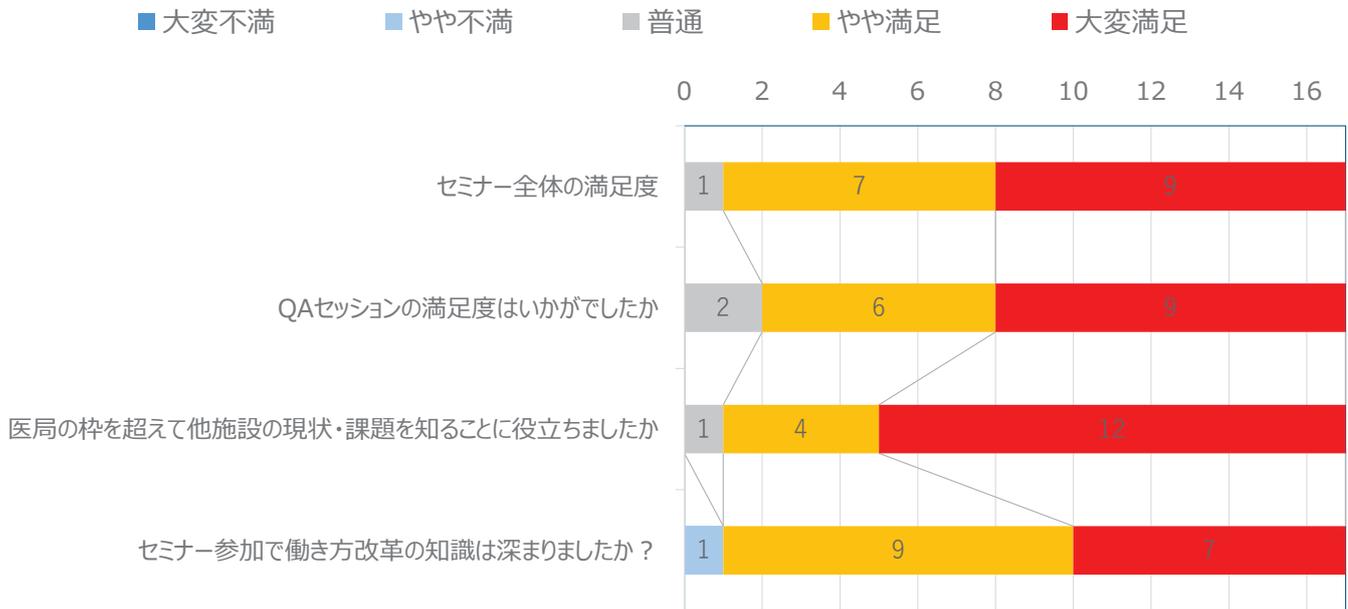
セッション2では、各施設での取り組みと現状と題して、2施設の演者にご講演いただきました。1人目は東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科・人工臓器移植外科の千代田武大先生でした。千代田先生は東大病院肝胆膵外科の働き方改革係として、医局および医局員の持続可能性・生産性に貢献するべく、業務の「x2/3 プロジェクト」を実践されています。具体的にはカンファの準備時間を x2/3、看護師が医師へ電話をかける回数を x2/3、手術記録のテンプレート作成による記録時間を x2/3 など、日々の不満の種として認識されているものの取り組む人の少なかった部分へ切り込むことで有効な改革を行われていました。一方で、緊急手術でありながら長時間の拘束時間を要する脳死肝移植術についての対応は現状では不十分であり喫緊の課題とのことでした。2人目は飯塚病院外科の本村貴志先生で、遠隔電子カルテ閲覧システム「Dr2Go」と Microsoft Teams を用いた働き方改革の実践についてご講演いただきました。Dr2Go はパスワード付き VPN 接続でセキュリティを確保しつつ、支給された端末で自宅などからでもカルテを閲覧することができ、Teams と組み合わせることで、夜間休日の上級医へのコンサルトや回診報告などの負担を軽減しているとのことでした。しかし自宅でのカルテ閲覧時間増加による休息時間の減少や、その他の改革により専攻医の執刀機会が減る可能性などまだまだ課題は多いとのことでした。

セッション3では、事前アンケート結果をもとにディスカッションを行いました。うまく行っている取り組みとして主治医制からチーム制・週末当番制への改革や、SNS を用いた情報共有などが挙げられましたが、施設によっては肝胆膵外科医が少なくチーム制・シフト制への移行が難しい点や改革によって給与のみが減少した、業務量は変わっていないなど厳しい意見も聞かれました。

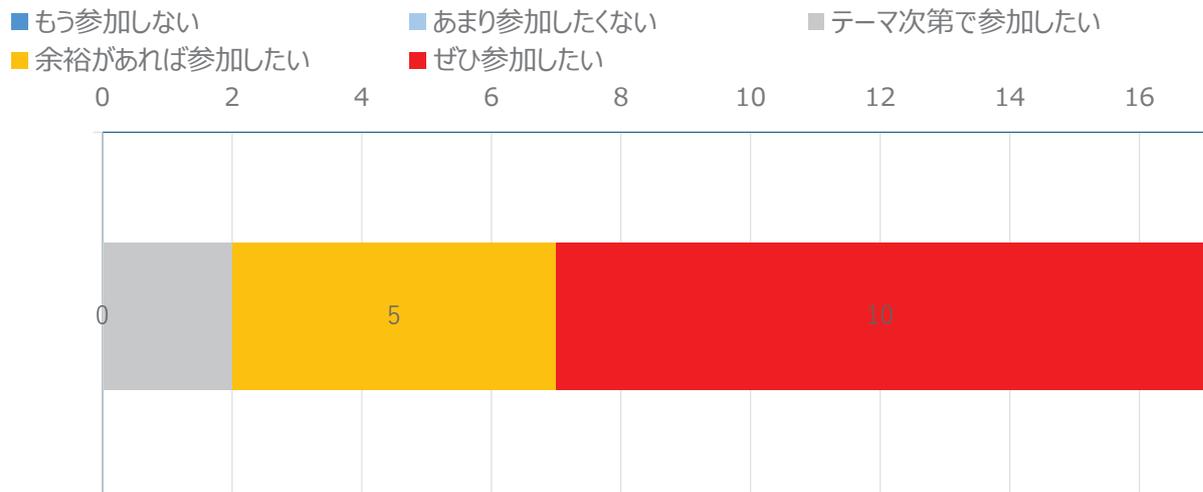
今回は合計 32 名と初回としては予想以上の参加者数でしたが、一般視聴者の意見の出しづらさやタイムマネジメントなどの課題も見つかりました。今後はさらに若手演者と視聴者との双方向性を高め、有意義な意見交流の場となるセミナーを企画していきたいと思えます。平日のお忙しいところにご講演いただいた先生方、ご参加いただいた先生方、誠にありがとうございました。

文責：小齊 侑希子（福岡東医療センター）

# Seminar 事後アンケート結果



# 今後のNGP Seminar 参加について



## 自由記載

具体的な対応・対策を提示していただきありがとうございます。ただ、いずれもU-45の若造が推し進められるような気がせず、結局は理解のある部長・院長・理事長が居ないとダメそうだなと感じました。

今後の変化に期待したいと思いますが、1人くらい逮捕者が出ないと慌てそうにない、そんな東北の田舎の現状です。

ICTの活用が興味深かったです。

アンケート結果は興味深い結果だったと感じました。

資格インセンティブなど施設変わればそれぞれで、自院で当たり前と思っていたことがそうではないことがわかり考えが広がった。

同意書一括などすぐにでも取り組めるヒントをいただき参考になりました！